



広報

イキシア

2026年9月

102号

イキシアには「団結して事にあたる」という花言葉があります。やっとな関心を集めるようになったこの精神保健の分野に理想の福祉を実現する為にあなたの知恵と力をお貸しください。

『序章の始まりーその2』

理事長 寺田 一郎

倒産

千葉県の通りハ事業の開始と柏市の助成開始を翌月に控えた一九八三年三月、仕事をくれている会社倒産しました。センターの初期の活動を支えてくれていた会社でした。

翌日から仕事がなくなりました。掃除などをしながら時間稼ぎをしました。通所の事業所で作業がない、やることがないことは最も辛いことでした。作業がなければ利用者への工賃も払えません。電気代も払えません。

幸い小さな取引で繋がっていた二社がその取引を拡大してくれてこの時期を乗り切ることができました。二社とも社長以下社員の方々もよく理解してくれました。実習も引き受けてもらいました。

家族の想い

東葛工芸センターは開所当初から利用者の家族や福祉関係者、教員などが集まって勉強会を続けていました。

精神障害、支援方法などの他、家族の状況などを話し合っていました。回を重ねるうちに、家族から「私たち親は

死ぬまで支えるつもりだが、死んだあとは誰が面倒をみるのか」という声がありました。

「死んだあとは誰が面倒をみるのか」という声がありました。いわゆる「親亡き後」の問題です。遠方のご家族からも「通所させたいが、住まいはないのですか」と多くの問い合わせを受けていることでもありました。それぞれの立場は違ってもニーズは一致していました。

「住まいと日中通える場所を作る」という新たな夢が与えられたのです。

ホレブ寮へ向けて

施設建設では土地、資金計画、運営主体、サービス内容（活動）、利用者獲得というところが課題となりました。すべての事が未経験でした。

最大の問題は建設費と運営資金でした。建設費は利用者ご家族から預託金という形で協力してもらい、運営費についても利用者負担ということになりました。これは障害者福祉では極めて異例で、今流に言えばイノベーションでした。それだけご家族のワナーホームへの思いが強かったのです。私たちにはそれに

応える責任がありました。

利用者が集まるかどうか。これにはマスコミ報道が大きな働きをしました。新聞で記事が紹介されると問い合わせが殺到しました。さらにNHK「明日の福祉」も大きな反響を呼び、ワナーホームの知名度は一気に高まりました。利用者の出身が全国的に分布しているのはそのためです。

話を本題に戻します。さまざまな課題は、どれも精神障害者を対象とする福祉制度がないことが最大の原因です。

制度がないことは、施設整備でも日常の運営にも公的補助が出ないということです。ホレブ寮がその例です。しかし、法整備の後で開所したワークショップしらさと、ノバハイッ白里、パンプキンハウスの建設ではいずれも建設費と運営費について国及び県の補助金を得ています。どの施設も法整備後の初年度だったことは教訓となりました。その後の施設整備では補助金は獲得できていません。柏については次号で紹介。

がないという困難を伴います。しかしそれは自分たちで白紙から作れるということでもあります。内部の書類も日課も手探りで作りました。これはワナーホームではこれからも大事にしたい姿勢です。

四十年経った今では、利用者への具体的な援助において、かなり困難な事例を依頼されることがよくあります。そういう時、「断る理由を探すより、どうやったら受け入れられるのかを考える」という姿勢は崩したくありません。綺麗ごとのように聞こえるかも知れませんが、私たちはこうして関係者からの信頼を得てきました。「病棟の入院患者より（病状の）悪い人たちがいる」という病院関係者の話もありました。現場は苦勞します。しかし自分の働きに誇りを感じる時もあります。

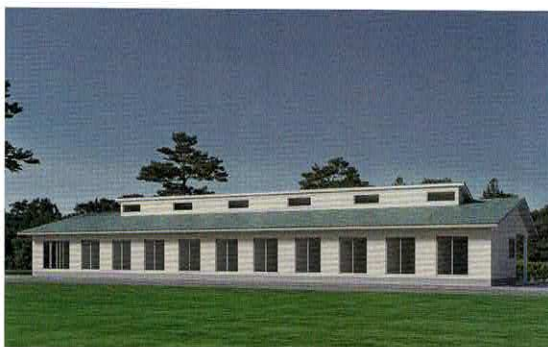
この運営姿勢は山武拠点をはじめ各拠点の事業展開に大きな影響を与えています。

本稿では触れることができませんでしたが、ホレブ寮の建設に当たっては、建築関係の方々の多大なご協力を頂きました。そして背中を押してくれたのはご家族の思いでした。それに応えて今日まで運営を支えてくれたのは職員の働きです。

千葉拠点新規事業プロジェクト

千葉拠点新規事業プロジェクトは、定員十名のグループホーム棟と、ベジブル棟（ベジブル鎌取店と鎌取相談支援センター）の二棟を建築中です。プロジェクトチームにて外壁、床、壁等の素材や色の選定を行い、毎週水曜日の現場定例会にて設計監理や建築業者の方々と進捗

確認等を行っています。グループホームは、名称を「ヴィータ」にしました。千葉拠点職員皆で名前候補を二十以上挙げ投票も行った上で語感と意味が決め手になりました。「人生（ヴィータ）を謳歌して欲しい」との思いを込めています。そのヴィータは四月六日に着工、五月二十八日に上棟を迎えました。屋根ができ外壁ボードが貼られるなど日々刻々と変わる姿に目を奪われています。ベジブル棟は、土地に残った排水管の撤去や電柱・電線の移設、防水壁の設置などを経て基礎工事の着工に漕ぎ着けています。（末永）



(小笠原)

七月四日にクロワール・ファミーミューの地域連携推進会議を行いました。今回ご家族の参加は叶いませんでしたが、大網白里市社会福祉課、社会福祉協議会白里支部の方々に参加頂き、法人の取り組みを始め、事業所の説明や利用者二名を交えての懇話など、「知る」を共有する時間を持つことができました。これからの地域との相互理解を深める取り組みをして行きます。



(長妻)

今年度の地域連携推進会議は、事業所のBBQと同日に開催しました。会議終了後、BBQに参加いただき、構成員の方々と利用者、職員と食事を楽しみ、交流しました。会議の中では、昨年度の事業報告や感染症対策、利用者支援等についての取り組み、今後を見据えた支援方針等の話題について話し合いました。次年度もBBQと同日開催の予定です。

クロワール・ファミーミュー ぶらり

地域連携推進会議

カトレア会便り

五月二十三日のカトレア会定時総会が無事開催され、すべての議案及び新役員が承認されました。出席された方、委任状を提出していただいた方ありがとうございます。

今年はワナーホーム創立四十周年と言う喜ばしい年にあたり、カトレア会でも何らかの形で祝意を表したいと思います。総会時にいただいた貴重なご

意見等を考慮しながら、今後検討して参ります。

今年度の主な活動として

☆交流会（会食をしながら）

☆みんなのまつりへの参加

ホームの行事計画に合わせて、内容を具体化し、後日お知らせいたします

お気軽にご参加下さいますよう、お待ちしております。

（大屋）

入会のご案内

カトレア会は、社会福祉法人ワナーホームの家族会です。

「①精神障害者の親の悩みは切実なものであり、同じ悩みを持つ者が、慰め合える機会が欲しい②社会復帰を目指す利用者に対し側面的な協力も考えていかなければならない」（立ち上げ当初の案内文より抜粋）という目的で平成元年にご家族の有志によって立ち上がりました。

コロナ禍を終えて再開した交流会では、これまで経験してき

たことやこれからのことを話合

えたり、情報交換をしたりして

います。みんなの祭りへ参加し

て利用者のみなさんや職員とも

交流してワナーホームの活動を

直接見てもらっています。これ

からも家族同士での交流や学

べる機会を作っていきます。ま

ずは、気軽にご参加いただけれ

ばと思いますので、皆様のご入

会をお待ちしております。

（橋本）

役員紹介

①石川庄六

カトレア会で微力ながら役員でお手伝いをさせていただいております。娘が通所でお世話になっております。今年は四十周年の記念する年で、今後も障害者家族にとって、なくてはならないこのホームが継続・発展を、お世話になる親として心より祈念し、また感謝申し上げます。

②井上守

二〇一三年に退職し、神奈川県茅ヶ崎市から自然豊かで静かな大網白里市に定住地を求めてきました。息子の就職を支援してくれる施設を探してワナーさんを知り、以来お世話になっております。カトレア会を通して他のご家族や施設の方々と交流でき励まされ感謝しています。

③古川広中

長男が十九歳から統合失調症になり、病院でワナーホームの方とお会いし、現在ファミリーにおります。本人の気持ちを理解して対応して下さり、ワナーホームはかけがえのない存在です。本人は今歩けない状態で入院中で、先々どうなってしまうのか？悩みを分かち合い心の通じ合う家族会を運営していきたいです。

④有蘭延子

六年前担当医の反対を押し切っ

て退院させた息子を、そのまま受け入れて下さったワナーホームに、どれだけの感謝の言葉を申し上げても足りません。あの日から息子は四十三歳の一人の人間として歩きはじめました。今、ご迷惑をお掛けしながらも温かい見守りとご指導を受けて息子は希望を持って日々過ごしております。心からの感謝を申し上げます。

⑤外山恵子

茂原市在住の外山と申します。二十七歳の息子がワナーホームさんにお世話になって、四年目になります。昨年九月、カトレア会にもお誘いいただき、会合に二回出席して、先輩方のお名前を覚え始めたところです。息子は、双極性障害での入院でした。退院はしましたが、今でも不安なことは沢山あります。新たに役員の仲間入りを致しました。お会いしたときには、皆様からいろいろと教えていただきたいと思っています。よろしくお願ひ致します。

⑥大屋祥子

歴史あるカトレア会を継いで節目の年に改めて会の役割を考えております。妹が入所して十八年。ホームの温かく辛抱強い見守りの中で次第に元氣になり、家族に沢山の驚きと喜びを与えてくれました。

今、妹共々「老い」にどう向き合いか模索中です。

交流会では是非お知恵を。



柏市

- ・ PAISIBLE柏店
- ・ Sandwich café PAISIBLE 教育福祉会館店
- ・ Boulangerie Café PAISIBLE
- ・ PAISIBLE高田店

千葉市

- ・ PAISIBLE鎌取店

茂原市

- ・ PAISIBLE茂原店
- ・ Sandwich café PAISIBLE 茂原市役所店

ペジブル&カフェ オススメニュー

PAISIBLE（ペジブル）・Boulangerie Café PAISIBLE（ブランジェリーカフェペジブル）は、社会福祉法人ワナーホームが運営するベーカリーです。様々な障害を持つ方の働きたい！という気持ちやそれぞれの個性や力を活かして、地域で愛されるベーカリー&カフェになれることを目指して、日々奮闘中です。

Sandwich café PAISIBLE

教育福祉会館店

Sandwich café PAISIBLEのおすすめメニューは、ハム&チーズのホットサンドです。開店当初からの人気商品です。厚切りのハムの食べ応えが抜群！とろけるチーズが冷めない内にお召し上がりください。

PAISIBLE 柏店

PAISIBLE柏のおすすめ商品、レーズンブレッドをご紹介します。レーズンをたっぷり使用した『レーズン好き』のためのレーズンブレッドです。スタッフおすすめの食べ方☆厚めに切ってトーストし、バターをたっぷり塗る！コーヒーともよく合います。

Boulangerie Café PAISIBLE



恒例の周年記念アフタヌーンティをご紹介します。

今年のテーマは「ジャポネーズ」。

ほうじ茶、黒豆、山椒、醤油、味噌などを使って和風に仕立てました。



PAISIBLE 高田店



「おすすめメニュー」

インクルーシブスイーツ “キャロットパフェ”

アレルギーや嚥下障害の有無に関わらず、誰もが同じ美味しさを共有し繋がる場所を共有したい。そんな想いから「食のバリアフリー」を目指したスイーツを販売しています。

第2弾のスイーツは、自社農園「すくすくファーム」の新鮮なニンジンを主役にした特製パフェ。



香ばしいココアビスケットで「畑の土」を、トップで「すくすく育っているニンジン」を再現！

誰もが安心して美味しさを楽しめる、おすすめの一品です。



PAISIBLE 鎌取店



アーモンドタルト

210円

アーモンドたっぷりのタルト。

ワークショップ鎌取の、末永施設長も大好きな焼き菓子です。

サクサクッキー

160円

バター、砂糖、小麦のシンプルな食材のみで作った、ベストなクッキー。このサクサク感は、本当にベストなんです！



PAISIBLE 茂原店 & Sandwich café PAISIBLE 茂原市役所店



～明太チーズ 220円～

モチモチ生地に明太ソースとチーズをトッピング!!
ロングセラーの商品です。

～ホットサンド

アボカドバジルチキン

250円～

Café一番人気の

ホットサンド。

さわやかバジルと

チキンの相性が絶妙です!!



新ホレブ寮・クロワール・ファミーユ 合同日帰り旅行

五月三十日利用者十五名、職員五名の総勢二十名で、毎年恒例の日帰り旅行に行ってきました。当日は汗ばむ程の好天。事務長が運転するワナーバスでいざ出発！目的地は「道の駅保田小学校」です。バスに揺られながらカラオケでの大合唱。今日これからの話に花を咲かせワクワクしながら向かいました。「道の駅保田小学校」は、廃校になった小学校の校舎を改装した道の駅です。揚げパンやミルクメークなど、昭和の香り漂う懐かしい給食メニューや内房の幸を彩る海鮮丼、刺身定食などに舌鼓を打ち、こぼれる笑顔にお腹も大満足でした。昼食後は、クリームパンの名店「八天堂」さくらづカフェでパン作り体験。パンの成型から、クリームを生地に入れる工程を楽しみました。完成した芸術作品と思しきパンを互にお披露目した後、それぞれのお腹にしっかりとしまいました。ホレブの皆と一緒にいきたい場所はまだまだ沢山あります。共に支え合いながら年を重ね、来年も元気で日帰り旅行の日を迎えたいと思います。

(門脇)



ベジブル柏レク ブルーベリー狩り

ベジブル柏にとって初の試みとなる遠出イベントとして、利用者十四名と職員十一名、総勢二十五名で茨城県石岡市の岡野ファームへ、ブルーベリー狩りに行きました。筑波山の麓に位置し、隣接する古民家カフェも営む素敵な農園です。偶然にもオーナーさんご夫妻は以前柏市にお住まいだった時期があり、当時近くの病院に入院中の妹さんにベジブルのパンを購入し、病室で一緒に召し上がっていたそうで、「なにか運命的な出会いを感じますね」というお言葉をいただき、思いがけないご縁に驚くとともに、ベジブルの地域における存在意義を改めて感じました。持参したベジブルのパンをお土産としてお渡ししたところ、オーナーさんご夫妻とても喜ばれていました。



納涼祭

今年度の納涼祭は熱中症等に考慮し、日時を分けて完全屋内で開催することとなりました。七月十八日に居住系利用者向け、二十日に通所系利用者向けに開催しました。規模は縮小されましたが模擬店数は例年同様に職員で運営し、利用者・家族・職員ともにお祭りを楽しむことができました。やぐらや提灯がない分、装飾担当の職員が工夫を凝らして制作した吹き流しや風鈴、水風船などが会場いっぱい飾られ、暑い夏を涼やかに過ごす一日となったと思います。毎年恒例の抽選会も行い、今年度は参加者全員にプレゼントが配られるなど、嬉しいサプライズも用意されました。運営の工夫としてバスポート制を導入しましたが、「安価で色々もらえて嬉しい」「スタンプリリーみたいで楽しい」と好評でした。

参加者からは「涼しい中でお祭りができて良かった」「落ち着いて過ごせた」との感想をいただきました。企画・運営や模擬店準備・装飾等、創意工夫を凝らしてご協力いただいた各職員の皆さんに感謝しています。

令和八年八月千葉豪雨 被害報告

二〇二六年八月十三日から十四日未明にかけて千葉県を中心とする関東地方で記録的集中豪雨が発生しました。千葉県上空で積乱雲が連続して発生する線状降水帯が形成され、気象庁は、千葉県内広域に警戒レベル五にあたる大雨特別警報や土砂災害特別警報を発表し、記録的短時間大雨情報も複数回出されました。

県内の被害状況は、死者十三名（八月二十三日現在）、住宅の浸水被害は床上・床下を合わせて三九〇〇棟以上に及びました。

ワナーホームでは、山武拠点（だいち）、千葉拠点（ポルタ）、柏下拠点（エクラス、ページブル柏、わたげワークス、たんぼぼセンター）で建物の床上浸水の被害を受けました。建物二階への垂直避難を判断し、人的被害はありませんでした。現在、被害のあったグループホーム入居者は、拠点内のグループホームや他法人のグループホームに避難し生活しています。建物

等の修繕が必要となるため、長期間の避難生活となります。利用者が体調を崩さないように支援し、早く安心した生活に戻るように対応していきます。

関係者の方、ご家族の方から、温かいお見舞いやご支援を頂き、誠にありがとうございます。皆様の温かいお心遣いに、心より感謝申し上げます。一日でも早い復旧を目指し、尽力してまいります。



山武拠点

だいち、二十七センチ床上浸水。

十三日二十時頃より雨が強くなり、だいち前道路が冠水。○時頃、一階利用者を二階へ避難しました。翌朝になっても道路の水が引かず、十四日午後、車が通れる深さまで水位が下がり、職員が救助に向かい、利用者はホレブ寮に避難できました。



千葉拠点

ポルタ、一〇五センチ床上浸水。

十三日十九時半頃、「水が入ってきた」と利用者より連絡を受け、全員二階へ避難するように伝え、一夜を過ごしました。翌朝には水が引き、六時半頃職員が救助に向かい、フジエールに避難できました。



柏下拠点

全事業所、最大四十七センチの床上浸水。

三年前の大雨による浸水被害から止水板設置を行いました。利用者と職員は消防隊の誘導で無事避難することができ、利用者はエクラスに避難できました。



ワナーホームの主な動き

《五月》

- ・バーベキュー会(ぶらり)／ぶらり
- ・地域連携推進会議／ぶらり
- ・就労支援セミナー・OB会(カフェペジブル)／わたげワークス
- ・わたげ・地活たんぽぽ合同ボッチャ大会(たんぽぽホール)／わたげワークス・地域活動支援センター(たんぽぽセンター)
- ・カフェ体験会(カフェペジブル)／わたげワークス
- ・グリコ工場見学(グリコ工場)／地域活動支援センター(たんぽぽセンター)
- ・春レク(ユニモちはら台)／ワークシヨップ茂原
- ・電車でGO(一宮駅周辺・玉前神社等)／長生地域生活支援センター

《六月》

- ・理事会
- ・評議員会
- ・ウェルカムタコスパーティー(エクラス北柏I)／エクラス
- ・地域連携推進会議／クロワール・フェミュー
- ・お買物に行こう(茂原セントラルモール／ぶらり)
- ・お出かけツアー(海の駅九十九里)／ホレブデザイナービス

センター

- ・コナズコーヒー(コナズコーヒー)／地域活動支援センター(たんぽぽセンター)

- ・外出レク(九十九里ヴィラそとぼう)／ワークシヨップしらさと

- ・きぼーるに行こう(きぼーる)／長生地域生活支援センター

《七月》

- ・地域連携推進会議／フジエール
- ・地域連携推進会議／だいち
- ・納涼祭(パンプキンハウス)／山武拠点
- ・外出プログラム「流山おおたかの森SCぶらり」(流山おおたかの森SC)／地域活動支援センター(たんぽぽセンター)
- ・アリオ蘇我に行こう(アリオ蘇我)／長生地域生活支援センター

《八月》

- ・パンケーキを作ろう(エクラス北柏I)／エクラス
- ・手賀沼花火大会(わたげワークス)／わたげワークス
- ・手賀沼花火鑑賞会(ブーランジェリーカフェ)／地域活動支援センター(たんぽぽセンター)
- ・花火祭り(たんぽぽホール)／地域活動支援センター(たんぽぽセンター)



- ・在職者交流会(特定非営利活動法人リンク)／山武ブリオ
- ・一宮花火大会(城之内築山公園)／長生地域生活支援センター
- ・親睦会(だいち)／だいち

イキシア入会のお願い

イキシア会は利用者とそのご家族及び一般有志からなるワナーホームの支援団体です。活動においてご理解をいただき、ご支援・ご協力を賜ります様宜しくお願い致します。

広報イキシアは年三回(一月・五月・九月)発行されます。

《会費》

賛助会員 三,〇〇〇円(年)
正会員 一〇,〇〇〇円(年)

編集後記

九月一日発行の予定でしたが、千葉豪雨の影響により発行が遅くなり、申し訳ありません。千葉県だけでなく、全国で水災害が出ています。一日も早く安心して過ごせる日常がもどりますよう、皆様の安全を心よりお祈り申し上げます。

発行所

ワナーホーム イキシア会

千葉県大網白里市細草3215

電話 0475-77-2100(代)

URL <https://www.wanahome.or.jp>

発行人 寺田 一郎